

広報

木もれ陽



第7号

発行：令和3年1月

【木もれ陽の由来】

利用する方々をやさしく照らし包み込む陽（ひかり）



社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団

由利本荘地域生活支援センター

〒015-0855 秋田県由利本荘市二番堰25-1

TEL.0184-25-7077 FAX.0184-25-7102 mail:yuricenter@fukinoto.or.jp



令和三年 年頭のあいさつ

由利本荘地域生活支援センター

所長 佐々木 薫

「I have a dream」

新年、明けましておめでとうございます。旧年中のご愛顧に感謝を申し上げますと共に、より一層のご支援、お引立てを賜りますようお願い申し上げます。

さて、コロナ禍によって否応なく変えられてしまった生活様式がありますが、私などはほぼほぼ変化がありません。散歩することがさらに多くなった感じです。コロナ禍に呼応するように熊の出没が増えているので、出くわさないように注意しています。

子供の頃、新年の新聞やテレビの話題は初夢が定番でしたが、現代は夜と朝の境目があやふやな時代です。人は夢をいつ見るのでしょうか。

夢といえば、あるドラマで主人公が「私には夢があります!」と朗々と語るシーンを思い出します。アメリカの公民権運動で有名なキング牧師のような語り口です。

「私には夢があります!」と、声高に自分の夢を語ることなど、気の小さい私にはとてもできませんが最後に一言、「私にも夢があります!」。

由利本荘地域生活支援センターの利用者様とご家族、関係者、職員やその家族にとりまして、今年が安寧な一年でありますように。



… 事業所内研修を行いました …

● 強度行動障がい支援者養成研修伝達研修

強度行動障がい支援者養成研修を受講した職員より12月10日、11日と2回、事業所内で伝達研修を行いました。障がいのため、自分の気持ちの表出の難しい方への接し方や、障がいの特徴を知り、統一した支援ができるように理解を深めました。



● 救命講習

12月10日、7名の職員が参加して、救命講習が行われました。本荘消防署救急班の鈴木さんよりAEDの使用手順、胸骨圧迫の仕方を教えてもらい、それぞれ二人グループで人形を使っての体験練習を実施しました。2分間胸骨圧迫を続けてみるという課題を実践し、たった2分でも大変な労力を使うことを実感しました。新型コロナウイルスが流行っているのも想定して行動することなど、自分の身を守ることも必要であることも教わりました。



事業だより①

放課後等デイサービス事業 「ぐんぐん」&「のびのび」

ぐんぐん



季節の創作 秋をテーマに



水彩画



風鈴作り



ハロウィンパーティー



調理体験 フルーチェ作り



グループ活動 しっぽとりゲーム



季節の創作や行事、創作活動、調理体験などさまざまな活動を行い、楽しく過ごしながら、活動を通じて成長をサポートしています

のびのび



季節の創作 あさがお



季節の創作 あじさい



七夕飾り



アイロンビーズ



調理体験 ホットケーキ作り



ハロウィンパーティー

事業だより②

生活介護事業



去年は塗り絵や貼り絵、書道、キノコ栽培等
いろいろな創作活動を楽しみ、頑張り
チャレンジする年になりました。



水林事業所

G H利用者の方にインタビューをしました

※コロナ感染防止対策としてインタビュー時はフェイスシールドを使用しました。

●場 所…グループホーム御門B ●利用者…高橋 祐也さん

- ★インタビュー (1) グループホームでの休日の過ごし方。
(2) 最近楽しかった事。
(3) 頑張っている事。

- ★アンサー (1) ・生活用品の購入で市内のスーパーやドラッグストアで買い物をする。
・部屋でゲームをして過ごすことも多い
(2) ・コロナ禍ではあったがグループホームのみんな(6名)で田沢湖へ1泊2日の旅行に行った。遊覧船に乗り、紅葉もきれいで楽しかった。グループホームの支援員、世話人さんがボランティアで付き添いをしてくれたおかげで、心配することなく安心して楽しめました。ありがとうございました。
(3) ・体重減量の為、グループホームの友達とプールで水中歩行をして頑張っている。



事業だより③

基幹センター・ 相談支援事業所

▶ 由利本荘市障がい者基幹相談支援センター

新型コロナウイルス感染防止のため、開催を見送った研修会もありましたが、8月以降は感染予防を徹底した上で開催しています。

9月には昨今、社会問題ともなっている引きこもり問題について、県精神保健福祉センターより講師を招き、勉強会を行いました。引きこもることの背景には、障がいを抱えている場合も少なくないことも含め、ご本人やご家族が抱えている不安や悩み、援助の基本知識と具体的な援助方法について学び、理解を深めました。

今後も様々な研修等を通して障がい者への理解を一層深めるための取り組みを行っていきます。

▶ 相談支援事業所

障がいのある方やご家族の不安・悩みを伺い、共に考えながら、住み慣れた地域で安心して自分らしい生活を送ることが出来るようお手伝いします。お気軽にご相談ください。



11月26日 障がい者の防災について



12月16日 権利擁護と虐待防止

就業・生活支援センター Eサポート

今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、登録者の方々の交流を少人数で開催したり、余暇支援の提案を個別に行っております。



■ 7月 ピアサポート活動&在職者交流会

登録者さん同士が自分のこと、仕事のこと、今までのこと、これからのことを語り合い、悩んでいるのは自分だけじゃないと知り、それぞれの想いに共感したり、お互いを励まし合う場になりました。

■ 10月 医療機関連絡会

医療機関、相談機関、就労支援機関が集まり、情報共有と意見交換を行いました。各々機関の機能や役割を活かし、連携を図っていくことの大切さを再認識し、包括的支援に繋がっていきたいと思います。



リモート環境について

Eサポートでは、感染症予防の観点から、リモートでの面談やオンライン会議に対応するため、カメラやマイク装備のパソコンやネット環境を整えております。



第7号の題字『木も柳易』について



放課後等デイサービスぐんぐんの 畠山瑛斗さんに書いていただきました。

いつも優しい瑛斗さん。題字のお願いをすると、快く引き受けてくれました。少し緊張しながらも、丁寧に書いてくれました。

令和2年11月19日～21日開催

心いきいき芸術・文化祭



感染症について

咳エチケットや手洗いなどの実施が
とても重要です。



◎咳エチケット…咳やくしゃみをするときは、周りへの感染を防止するため、ティッシュなどで口と鼻を覆いましょう。使用したティッシュはウイルスなどの病原体が付着しているため、すぐにゴミ箱へ捨て、その後十分な手洗いをしましょう。

風邪症状があれば、外出を控えていただき、やむを得ず、外出される場合にはマスクを着用していただくようお願いします。

【集団感染の共通点】

- ①「換気が悪い」
- ②「人が密に集まって過ごすような空間」
- ③「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」

自らが感染している可能性を想定した行動と健康状態の把握に努めることが重要です。



お悔やみ

生活介護事業・共同生活援助事業

藤井 加代子 さん

令和2年7月5日逝去

謹んでご冥福をお祈りいたします。

各事業所の連絡先

◎由利本荘地域生活支援センター 由利本荘市二番堰25番地1

『生活介護事業』『児童発達支援・放課後等デイサービスのびのび』

『相談支援事業』『由利本荘市障がい者基幹相談支援センター』

『由利本荘・にかほ圏域障がい者就業・生活支援センター (E-Support)』

TEL.0184-25-7077 FAX.0184-25-7102

TEL.0184-74-3614 FAX.0184-44-8579

TEL.0184-44-8578 FAX.0184-44-8579

◎放課後等デイサービスぐんぐん 由利本荘市花畑町2丁目28番地

TEL.0184-74-8020 FAX.0184-74-8030

◎水林事業所 由利本荘市調練場1-1

『就労継続支援B型』『指定共同生活援助（グループホーム）事業』

TEL.0184-23-3551 FAX.0184-23-4660